

○日時 令和5年7月4日(火)
13:45~14:15
○場所 市役所本庁舎4階記者会見室

ウイングアーク1st株式会社との北九州市への進出 及び包括連携協定締結式

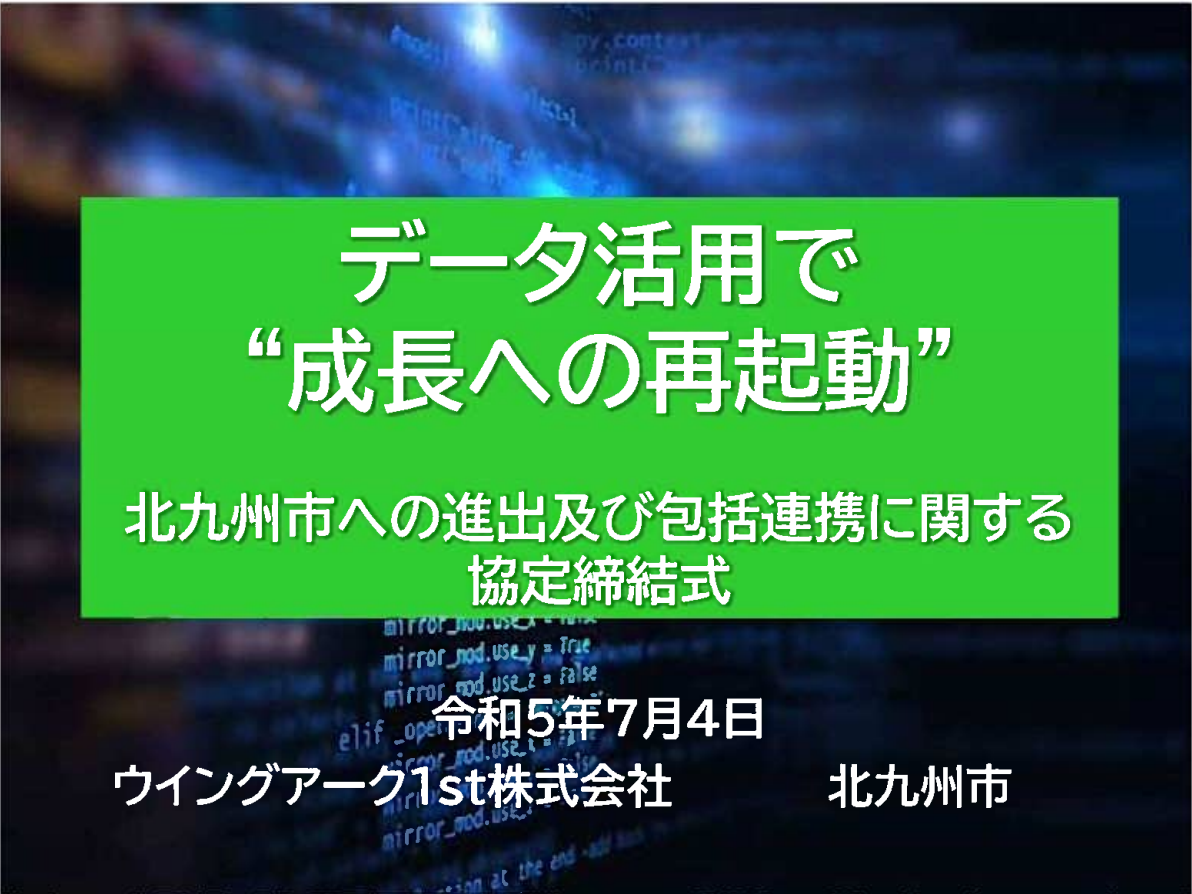
次 第

1. 出席者紹介
2. 北九州市説明
(北九州市長 武内 和久)
3. ウイングアーク1st株式会社説明
(ウイングアーク1st株式会社 代表取締役 社長兼CEO 田中 潤氏)
4. 協定書署名
5. 質疑応答
6. 写真撮影

配布資料

- ・北九州市説明資料
データ活用で“成長への再起動”北九州市への進出及び包括連携に
関する協定締結式
- ・ウイングアーク1st株式会社説明資料
北九州市への進出及び包括連携協定
《参考配布》
- ・令和5年7月4日付 北九州市プレスリリース資料
- ・令和5年7月4日付 ウイングアーク1st社リリース資料

【問い合わせ先】
北九州市産業経済局 次世代産業推進課
課長：大庭、係長：福田
電話：093-582-2905



データ活用で “成長への再起動”

北九州市への進出及び包括連携に関する
協定締結式

令和5年7月4日

ウイングアーク1st株式会社

北九州市



北九州市への進出

ウイングアーク1st社の北九州市への進出

東証プライム上場企業

WingArc 1ST
The Data Empowerment Company

実証拠点「地域創生ラボ」を
北九州市に創設

令和5年7月 準備室開設
(DISCOVERY coworking)

令和6年4月 BIZIA小倉に
実証拠点「地域創生ラボ」創設



包括連携について



包括連携のねらい

北九州市のねらい



…北九州市の喫緊の課題…

- ・ 経済の停滞
- ・ 人口減少、若者の流出 など

これらの課題を克服し、「成長への再起動」を実行

ウイングアーク1st社のねらい



- ・ 地域密着型でニーズ・課題を掘り起こし地域創生のモデルを確立
- ・ 同モデルを全国・世界へ展開

地方の課題解決のためには、
地方に拠点を設けることが不可欠
課題克服に向け先駆的に取り組む北九州市が最適

強みを活かして “成長への再起動”



強み

- ① データ活用による企業変革
- ② スタートアップの育成支援
- ③ 国内外600社のエコシステム



地域創生ラボで実証
“ザ・北九州モデル”

- ① 稼げるまちの実現
- ② 若者の期待や夢があふれるまちの実現
- ③ 企業に選ばれるまちの実現

稼げるまちの実現

WingArc 1ST
The Data Empowerment Company

強み

データ活用による企業変革

ものづくり企業が育んできた分野と新たな技術
等が融合する「企業」のポテンシャルを引き出す

市内中小企業のDX・GX推進による
中小企業の成長・事業変革

若者の期待や夢があふれるまちの実現

WingArc 1ST
The Data Empowerment Company

強み

スタートアップの育成支援
～アクセラレータープログラム～

若者のエネルギーと挑戦を応援する
「人」のポテンシャルを引き出す

スタートアップエコシステムの強化

企業に選ばれるまちの実現

WingArc 1ST
The Data Empowerment Company

強み 国内外600社のエコシステム

マーケット・リソース・コストに強みを持つ
「場」のポテンシャルを引き出す

IT企業の集積促進

新時代のデジタル行政へ

WingArc 1ST
The Data Empowerment Company

強み データ活用のノウハウ
充実した研修プログラム

デジタル行政の推進

市職員のデジタルスキル向上

新時代のデジタル行政の実現

“ザ・北九州モデル”を全国・世界へ

成長への再起動

STEP 1

実証拠点
「地域創生ラボ」創設

STEP 2

北九州でのDX・GX
地域創生モデル構築

地域創生の成功モデル
“ザ・北九州モデル”

STEP 3

全国・世界へ
北九州モデルを展開

「ザ・北九州モデル」の 実現に向けたパートナーシップ

1 北九州市への進出

2 包括連携の推進

(1) 地域企業のDX・GX推進

(2) スタートアップ支援・企業誘致

(3) デジタル行政の推進

職員のデジタルスキル向上

北九州市とウイングアーク1stのDX・GX包括連携協定

データ活用で”成長への再起動”を推進

update June 28, 2023

ウイングアーク1st株式会社
代表取締役 社長執行役員CEO
田中 潤



1. 「会社概要」及び「連携協定の背景と狙い」について
2. 当社の強み
3. 本連携協定の取り組みサマリ

会社概要

略号	ウイングアーク1st株式会社 (英文表記: WingArc1st Inc.)
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木三丁目2番1号 六本木グランドタワー
創業	2004年3月
資本金	11億3500万円 (2023年2月末現在)
代表者	代表取締役 社長執行役員CEO 田中 潤
決算期	2月
売上高	223億 (2023年2月末)
従業員数	単体705名、連結799名 (2023年2月末現在)
グループ会社	株式会社リテールマーケティングワン 文雅科信息技术(上海)有限公司 WINGARC SINGAPORE PTE. LTD. 株式会社Everforth 株式会社traevo 文雅科信息技术(大連)有限公司 WINGARC AUSTRALIA PTY LTD



わたしたちが提供する価値

Empower Data, Innovate the Business,
Shape the Future.

情報に価値を、企業に変革を、社会に未来を。

ウイングアーク1stは、データ活用のための革新的なソフトウェア・サービスを提供することで、さまざまな企業のイノベーションを支援し、社会の未来をつくっていきます。

北九州市と連携協定を推進する背景

■ ギラヴァンツ北九州の支援

2021年6月23日に北九州市・ギラヴァンツ北九州・ウイングアーク1stの3者でスポーツテックにより選手のパフォーマンス向上を図る連携協定を締結



■ 環境及びデジタル化の先進都市

デジタルおよび環境への取り組みを積極的に推進

- ・2022年度「第1回日経自治体DXアワード大賞」の受賞
- ・2022年度 内閣府が推進する「夏のDigital甲子園」での内閣総理大臣賞受賞
- ・国が定めた「SDGs未来都市」の選定や次世代エネルギーの集積など



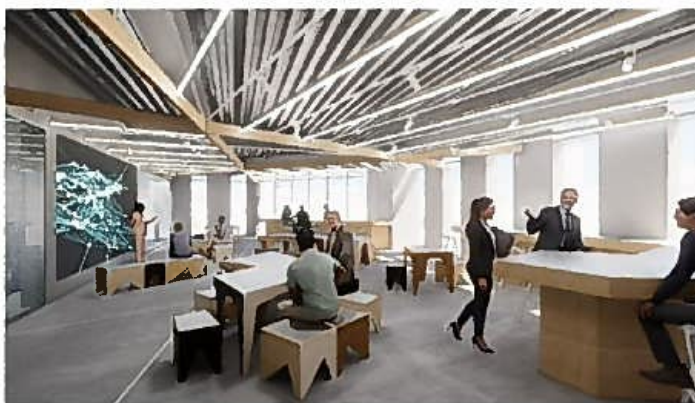
■ 豊富な理工系人材を輩出

全国でトップクラスの理工系大学及び高専、工業高校等の卒業生数を輩出

企業や公共機関と共創で地域のDX・GXを推進する拠点 「地域創生ラボ」を設置

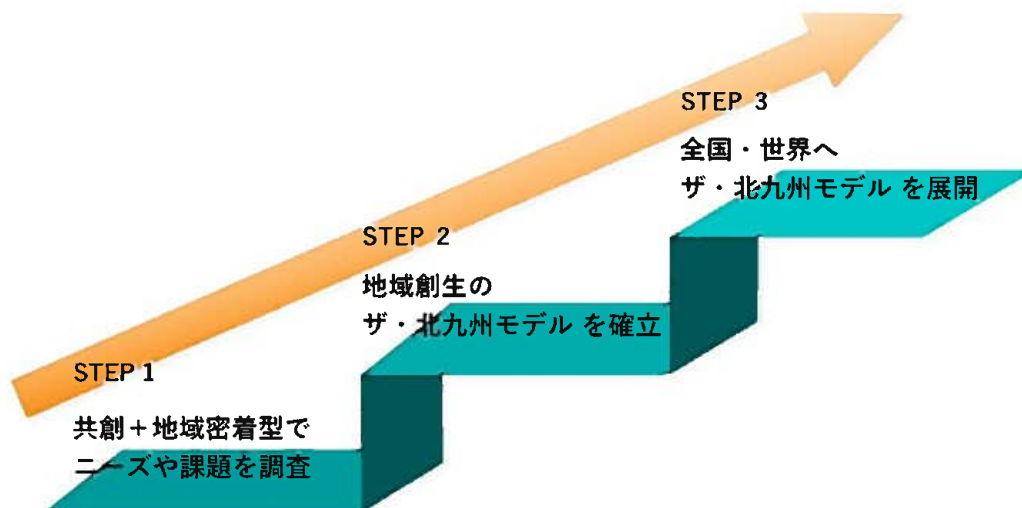


24年4月にBIZIA小倉へ入居
(23年7月に準備室をDISCOVERY coworkingへ設置)



国内初の「地域創生ラボ」を小倉に開設し、
共創モデルでDX・GXを推進するための実証を北九州を軸に展開

データ活用を軸とした地域密着型の共創ソリューションを開発し
地域創生の「ザ・北九州モデル」として全国展開を狙う



Copyright © 2023 WingArc1st Inc. All Rights Reserved.

page No. 7

1. 「会社概要」と「連携協定の背景と狙い」について
2. 当社の強み
3. 本連携協定の取り組みサマリ

Copyright © 2023 WingArc1st Inc. All Rights Reserved.

page No. 8

つながる事業・つながる企業 ウイングアーク1stの強み

■ データ活用でつながる事業

他社にはないユニークな価値として
「データ活用」を中心に製品・サービスを展開



■ エコシステムでつながる企業

WARP（販売代理店）・WAVE（ソリューション連携企業）・
資本提携含め 576社ものパートナー企業と協調関係



Copyright © 2023 WingArc1st Inc. All Rights Reserved.

page No. 9

データ活用を軸にした 国内シェアNo.1*の事業



*出典「株式会社ゼロイトーマップとリンク経済研究所「帳票設計・適用製品の統合調査2022年度版」（帳票適用製品） ITR「DBMS BI市場 2021」データ分析・レポート・エンゲージ市場、ベンダー別売上金額推移及びシェア

Copyright © 2023 WingArc1st Inc. All Rights Reserved.

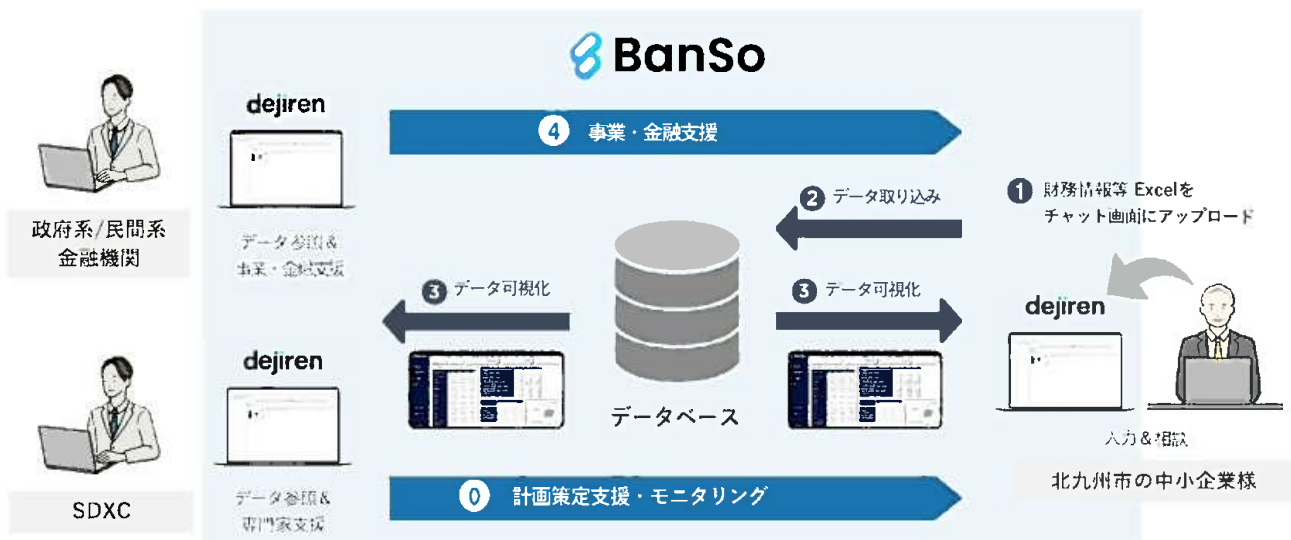
page No. 10

中小企業支援プラットフォーム 「BanSo」で市内企業様のDXを促進



専門家支援から金融支援までを市内の企業様で実施できるよう
DX伴走支援スキームの構築を目指す

「BanSo」の活用イメージ



国内のエコシステムを活用した事例

CO2排出量の可視化ソリューション

金融機関連携や物流のCO2排出量把握等のGXに関する更なる課題やニーズを調査



WingArc **IST**   鈴木商事株式会社

AI+ロボットによる維持保全DX

構造物点検で得られたデータを活用し老朽化対策を支援



WingArc **IST**  

海外のエコシステムを活用した事例

AIを活用した海外GXソリューション

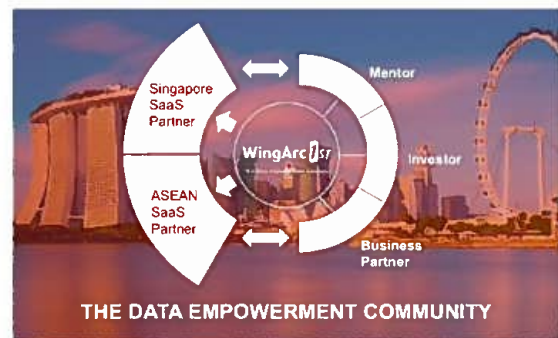
シンガポールと気候が異なる四季のある日本で、空調設備の使用電力最適化・CO2削減に関する国内初実証



WingArc **IST**  Azendian

独自のアクセラレータープログラム

海外企業の市内誘致及び国内企業の海外進出を促進



WingArc **IST**  

1. 「会社概要」及び「連携協定の背景と狙い」について
2. 当社の強み
3. 本連携協定の取り組みサマリ

連携協定の取り組みサマリ

市役所及び地域のDX・GX推進

中小企業経営のDX支援



海外スタートアップのGX技術を実証



行政手続きデジタル化



CO2排出量の見える化



AI+ロボットで維持保全DX



デジタル人材育成



スタートアップ支援や企業誘致

アクセラレータープログラム



北九州市への立地（進出）

BIZIA小倉に
「地域創生ラボ」を開設

北九州市内の
新卒及び中途採用活動

北九州市 × ウイングアーク1st 地域創生ラボ

データ活用で
成長への再起動



Copyright © 2023 WingArc1st Inc. All Rights Reserved. page No. 17

The Data Empowerment Company

データに価値を、
企業にイノベーションを。

私たちは「データ」が、これからの新しい資源として社会から求められるようになると考えています。
その期待にこたえられる企業とし、企業理念に The Data Empowerment Company を掲げています。

令和5年7月4日
北九州市産業経済局

報道機関各位

**東証プライム上場企業・ウイングアーク1st株式会社の進出
市長の民間経験や培ってきたネットワークを活かした
トップセールスによる進出企業**

北九州市への進出及び包括連携協定締結

北九州市とウイングアーク1st株式会社は、令和5年7月4日、同社の北九州市への進出と、市の掲げる「成長への再起動」に向けた取り組みを推進するための包括連携協定を締結しました。

ポイント① ウイングアーク1st社の北九州市への進出

同社は、地域密着型で地方のニーズや課題を掘り起こし、実証を通じた地域創生のモデルを確立させ、そのモデルを事業展開することでビジネス拡大を見込んでおり、地方の新たな拠点となる「地域創生ラボ」の創設を決定しました。その進出先として、課題克服に向けて果敢に取り組み、DX(デジタルトランスフォーメーション)・GX(グリーントランスフォーメーション)の先進的な評価がある北九州市が最適であると判断し、今回の進出へと至りました。

同社は、今月中に「地域創生ラボ」の準備室を開設、来年4月にビジア小倉へ本格進出予定であり、将来的には3年間で30人規模の雇用を見込んでいます。同ラボでは、本社に設けていた新規事業開発や企画の一部を担う計画です。

ポイント② 包括連携協定の内容

同社と市は、地域企業のDX・GX推進、スタートアップ支援や企業誘致、デジタル行政の推進及び職員のデジタルスキル向上などを進めるための包括的な連携協定を締結しました。

この連携協定を通じて、データ活用による企業変革の知見や、国内外に600社のエコシステムを持つ同社の強みと、市のポテンシャルを掛け合わせ、地域課題の解決モデル「ザ・北九州モデル」を確立させ、成長への再起動につなげていきます。

※詳しくは、北九州市発表資料、ウイングアーク社発表資料をご参照ください

【問合せ先】

産業経済局次世代産業推進課 課長:大庭、係長:福田 TEL:093-582-2905

2023年7月4日

報道関係各位

ウイングアーク1st株式会社

**北九州市とウイングアーク1stが連携協定を締結
データ活用で成長への再起動、「ザ・北九州モデル」を構築**

福岡県北九州市（市長：武内 和久）とウイングアーク1st株式会社（住所：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO 田中 潤）は、北九州発の地域創生モデルの創出を目的に「北九州市への進出及び包括連携に関する協定」を7月4日（火）に締結しました。



■背景

北九州市は、2022年度「第1回日経自治体DXアワード大賞」の受賞や、同年開催された「夏のdigi田甲子園」での内閣総理大臣賞受賞をはじめ、国が定めた「SDGs未来都市」の選定や次世代エネルギーの集積など、デジタルおよび環境への取り組みを積極的に推進しています。

ウイングアーク1stは「Empower Data, Innovate the Business, Shape the Future. 情報に価値を、企業に変革を、社会に未来を。」というビジョンのもと、データ活用のプロフェッショナル企業として、長年にわたり多くの企業の業務効率化や業績向上を支援しています。2020年に、日本プロサッカーリーグで活躍する株式会社ギラヴァンツ北九州とパートナー契約を締結し、2021年6月23日に北九州市・ギラヴァンツ北九州・ウイングアーク1stの3者で、スポーツテックにより選手のパフォーマンス向上を図る連携協定を結んでいます。2022年には、行政手続きデジタル化を検証する北九州市の公共施設のオンライン申請に関する実証実験を実施するなど、データ活用領域における、取り組みを北九州市と推進してまいりました。

このたびの締結は、北九州市が強みとするデジタルおよび環境面への取り組みと、ウイングアーク1stが強みとするデータ活用と培ってきたエコシステムをし、地域課題を解決する北九州市発の地域創生モデル「ザ・北九州モデル」の構築を目的とします。

このたびの締結を機に、ウイングアーク1stは北九州市に実証拠点となる「地域創生ラボ」を創設し、7月には準備室を開設、2024年4月に本格進出を予定しています。将来的には「地域創生ラボ」に携わる当社グループの雇用を3年で30名の採用を目指しています。この「地域創生ラボ」での実証(※)を通じて構築した「ザ・北九州モデル」の全国展開を図ることで地域創生とビジネス拡大を見込んでいます。

(※)具体的な実証は以下を予定しています。

- ①北九州市内における経営データに基づくDX伴走支援スキームの構築（中小企業支援プラットフォーム「BanSo（バンソウ）」の活用）
- ②中小企業向け脱炭素経営支援モデルの構築（「EcoNiPass（エコニパス）」サービスの提供）
- ③海外スタートアップ企業のGX（グリーントランスフォーメーション）技術の北九州における国内初実証
- ④行政手続きデジタル化の推進

■連携事項

1. 北九州市への進出に関する事項
2. 包括連携の推進に関する事項
 - 2-1. 地域企業のDX・GX推進に関する事項
 - 2-2. スタートアップ支援や企業誘致に関する事項
 - 2-3. デジタル行政の推進及び職員のデジタルスキル向上に関する事項

■本連携に伴い、北九州市長のエンドースメントをご紹介します。

「このたびの進出と締結を嬉しく感じ、同時に身が引き締まる想いでいます。このまちをもっと良くしていきたい、北九州市のポテンシャルを引き出して、「成長への再起動」を実現させたい、という思いから、既成概念を打破する気持ちで、日々、市政に取り組んでいます。連携を機に、ウイングアーク1st社と一緒に、このまちの課題を克服し、稼げるまち、若者の期待や夢があふれるまち、そして、企業に選ばれるまちを実現させ、北九州市の「成長への再起動」を強力に後押ししていきたいと考えています。また、北九州市における課題は、日本全国の自治体における共通課題となるものです。ここ北九州市で生み出した課題解決の成功モデル、「ザ・北九州モデル」を全国へ展

開し、日本を変えていくこと。ウイングアーク1st社にとっても、北九州市を選んだことが間違いではなかった、と言っていただけるよう、官民で取り組んでまいります」

北九州市長 武内 和久氏

<製品・サービスに関するお問い合わせ先>

ウイングアーク1st株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木三丁目2番1号 六本木グランドタワー

TEL：03-5962-7300

お問い合わせフォーム：<https://www.wingarc.com/contact/>

※本リリースに掲載する社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。